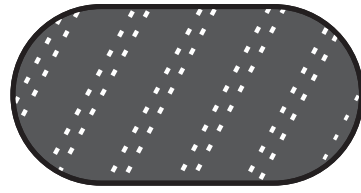


前年増加の反動減

みりん



小雨

理機会減少や人口減など、ほかの基礎調味料同様に減少基調であることは間違いない。みりんと売場が近い酢が好調で売場を拡大しており、その分、売場が縮小したことも考えられる。メ

18年1～8月のみりん課税移出数量は前年比89・8%で推移している。17年は、みりんの生産量が回復し前年を上回った反動などが考えられる。みりんの需要に大きな変化があったわけではなさそうだが、家庭での調

ーカーは、新容器を採用するなどの訴求を行っているが、若年層など新規ユーザーの開拓が急務だろう。

本みりん課税移出数量

